

独立行政法人国立女性教育会館の令和2年度文部科学省業務実績評価の結果を踏まえた業務運営の改善等への主要な反映状況

中期計画項目	令和2年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和3年度、4年度の改善の状況
<p>I-1 男女共同参画社会の実現に向けた人材の育成・研修の実施</p> <p>III-1 自己収入の拡大                      (1) PFI 事業による運営権対価等の確保                      (2) 外部資金の積極的導入</p>	<p><b>【男女共同参画社会の実現に向けた人材の育成・研修の実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により集合研修からオンライン研修に切り替えたが、オンライン研修でも参加者から目標値を超える満足度を得ることができた。今後は、参加者の学習ニーズを踏まえ、「対面・集合研修」と「オンライン研修」のそれぞれの特性を活かした、効果的な研修の在り方について、研修の目的等を踏まえて検討が必要である。</li> </ul> <p><b>【自己収入の拡大】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用者が長期間減少することや、新型コロナウイルス感染症軽症者・無症状者の受入れ終了により、法人運営に支障を来すことが想定される。そのため、PFI 事業の在り方を含めて対策を講じる必要がある。さらに、外部資金（受託事業経費、科学研究費補助金、補助事業経費、寄附金収入）については、受入れ拡大を向けて取組を進めること。</li> </ul>	<p><b>【男女共同参画社会の実現に向けた人材の育成・研修の実施】</b></p> <p>令和3年度は、埼玉県への軽症者受入施設としての貸出のためオンライン研修を継続せざるを得なかった。                      令和4年度は軽症者受入が終了した年度途中から、「オンライン研修」と「対面・集合研修」を組み合わせた形での研修を行った。</p> <p><b>【自己収入の拡大】</b></p> <p>外部資金を獲得するため、受託事業、科学研究費補助金等の申請を行った結果、受託事業経費（令和3年度、4年度）、科学研究費補助金（令和3年度）、補助事業経費（令和3年度、4年度）を獲得することができた。                      7月末で新型コロナウイルス感染症軽症者・無症状者が受入れを終了し、PFI 事業者が段階的に受入を開始する中、モニタリングを適切に実施した。</p>